

# 発見! 甲賀の自然

第15回 セミの多様性とすむ環境

～身近な甲賀の自然から、興味深い話題を紹介します～

夏の森はセミの声でいっぱいです。皆さんは、セミの種類によってすんでいる森が違うことに気づいていますか？

最も早く5・6月に現れるハルゼミは、アカマツ林に生息します。信楽地域など松林が元気な場所で多くの声を聞きます。

7月初旬から増えるニイニゼミは、シー(チー)と鳴き、山すその雑木林や広葉樹が多い公園に見られます。8月中頃から増えるツクツクボウシも同じような森にすみます。夏休み頃に現れ、ジリジリと鳴くアブラゼミも、同じ森にすみますが、街中の公園・学校・住宅地など、ニイニゼミやツクツクボウシが少ない、やや都市的な環境の森にも多いのが特徴です。

ヒグラシは、ご存じのカナカナと鳴くセミですが、スギやヒノキがある暗い山地の森に多くすみ

ます。ミンミンミン…のミンミンゼミも山の森で多くの声を聞きます。

近年、市内でも聞くクマゼミは、朝にシャシャシャ…と鳴きますが、大阪など西日本のコンクリートが多い大都市の公園や街路樹にたくさん見られます。

今年は国際生物多様性年です。身近な生きものと環境を見直してみましよう。自然館では生物多様性についての展示を開催中です。



▲アブラゼミ

問い合わせ **みなくち子どもの森自然館**  
☎ 63-6712 ☎ 63-0466

夏季特別展「里山は生きものがいっぱい!～甲賀の生物多様性～」開催中(～9月23日)

## 43 市史の小徑

### 知多半島に佐治氏の足跡を訪ねる

信楽焼とは深い関係を持つ常滑焼の窯場を訪ねた帰途、愛知県常滑市大野にある佐治城跡を訪ねました。城跡は伊勢湾を見下ろし、遠く鈴鹿の山並みを望む高台にあります。城主佐治氏は戦国時代の末、大野を拠点に水軍の将として伊勢湾全域の海上交通を掌握した一族で、その名が示すとおり甲賀衆の雄、佐治谷の佐治氏の分流と伝えます。

知多半島を二分するほどの勢力を誇った佐治氏は、やがて信長に属しその妹を迎えるなど密接な関係を築きますが、本能寺の変後は秀吉に従います。当時の与九郎(みすけ)一成は、秀吉の命で浅井長政とお市の方の間に生まれた三姉妹の末娘お江(お小督)を正室としますが、一成が家康に近づくと秀吉の怒りを買って離縁させられ、さらに所領没収のうえ追

放の身となります。

一方、お江の方はその後さらに波乱の人生を歩み、ついには徳川幕府の二代将軍となった秀忠の室となり、家光を生んで天下人の妻となり母となります。そのことは来年のNHK大河ドラマ「江」姫たちの戦国」で詳しく描かれるはずですが、それはともかく、のんびりと船が行き交う伊勢湾を眺めながら、戦国の東海と甲賀を結ぶ物語を空想するひとときを、しばし楽しむことができました。



▲佐治城跡

【市史販売所】  
〈水口〉TSUTAYAさんぽっど・ハタヤ書店・山川書店・山田書店・水口歴史民俗資料館〈土山〉ウエノ・新名神土山サービスエリア案内所・道の駅あいの土山・土山歴史民俗資料館(甲賀)かふか生涯学習館(甲南店)WING甲南店・市史編さん室(信楽) 大玉堂石川書店・信楽中央公民館・信楽伝統産業会館・陶芸の森信楽産業展示館・信楽高原鐵道信楽駅売店

問い合わせ  
歴史文化財課 市史編さん室  
甲南庁舎3階  
☎ 086-88075  
☎ 086-88216